

【様式1】

※別途、発注業務の中で概要作成を行っている調査については、この様式を使用する必要はない。

調査年度	平成24年度
調査タイトル	平成24年度官民連携主体による地域づくり推進事業
<p>1 調査の目的と背景</p> <p>従来型の行政支援策が抱える官の縦割り及び横割りの制約や民の政策決定過程への関与の弱さを克服し、互いに連携して補完し合う「官民連携主体」が地域の特性や状況変化に応じた地域戦略を実現することを促すための環境整備を行う必要がある。官民連携主体を国としてフォローアップしていく上ではどのような観点が重要になるのか等を明らかにすることを目的とする。</p> <p>2 調査方法、体制</p> <p>公募により官民連携主体として5つの主体を選定された5つの主体を選定し、各活動を支援する過程で得られた課題等の分析を行う。</p> <p>(官民連携主体)</p> <ul style="list-style-type: none">・三遠南信地域連携ビジョン推進会議 (SENA)・歴史街道推進協議会・福岡地域戦略推進協議会 (FDC)・東北・夢の桜街道推進協議会・瀬戸内・松山ツーリズム推進会議 <p>3 結果概要</p> <p>別添 (P.2~P.6) のとおり</p>	
参考 URL 等	

①三遠南信地域連携ビジョン推進会議(SENA)

構成員

- 【官】 浜松市、豊橋市、飯田市等の地方公共団体
- 【民】 浜松商工会議所、豊橋商工会議所、飯田商工会議所等の経済団体

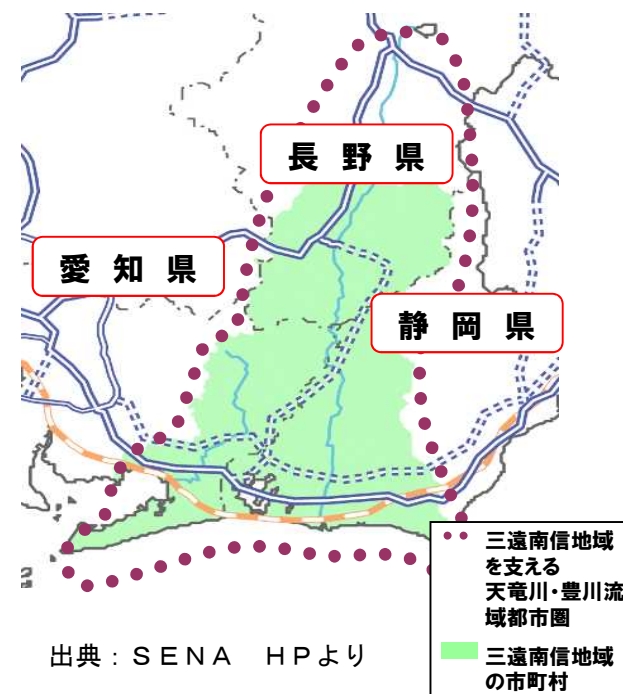
目的

「三遠南信250万流域都市圏の創造」のため、東三河地域、遠州地域及び南信州地域の県境を越えた地域連携を推進し、一体的な圏域の発展を目指すことを目的に平成20年設立。

地域内の高等教育機関との連携・協働を図りながら、平成23年度設定した次世代社会基盤創造分野（社会的企業、持続可能エネルギーなど地域戦略の中で重点を置く分野）を対象に、人財資源の活用とその定着を促すための事業活動について、産・学・官・金の連携によって推進する。

H24の主な事業内容

- 三遠南信地域大学連携会議の開催
- 三遠南信地域産学官人財育成円卓会議の開催
地域の大学の連携や経済界、行政との協働化を図り、三遠南信地域における「人財」の育成・定着化、確保に向けた具体的なアクションを検討
- 人財育成のモデルプログラムを試験的に行うパイロット事業の実施
地域の大学生を対象にモデルプログラムを実施
- 三遠南信サミットの開催
圏域の首長が集まり、圏域一体となった意識醸成



②歴史街道推進協議会

構成員

【官】 近畿2府6県、60市町村

【民】 10経済団体・その他団体、119の民間企業、約3000名の個人会員

目的

歴史文化資源を活用した空間づくりや地域づくりを進めるとともに、日本の歴史・文化を内外問わず広域的に発信することを目的に平成3年設立。

昨年度策定した地域戦略(歴史街道7期計画)に基づき、「**日本文化の発信基地づくり**」「**新しい余暇ゾーンづくり**」「**歴史文化を活かした地域づくり**」という3つの活動目標に沿った、官民連携による事業の実施。

H24の主な事業内容

- 地域づくりリーダーネットワークの再構築及び着地型観光などの推進
 - ・北近畿、近畿中央部、紀伊半島約100箇所における観光案内所ネットワークでの地域情報の発信
 - ・着地型観光に取り組む地域リーダーによるプレゼンテーションとパネルディスカッションを実施
- 地域活性化のための広域情報の圏外発信の推進
 - ・紀伊半島のモデルコースづくりと首都圏メディア・キャラバン隊の実施
 - ・ユネスコ世界遺産40周年記念会議における「日本の世界遺産」PR
- 淀川をモデルにした歴史的河川流域の連携を推進
 - ・学芸員、地域団体と西国街道を中心に現地調査を実施



出典：歴史街道推進協議会 HPより

③福岡地域戦略推進協議会

構成員

【官】 福岡県、福岡市

【民】 九州経済連合会、福岡商工会議所、九州大学、九州電力、JR九州等

目的

福岡都市圏を核とし、九州及び隣接するアジアの地域との連携を図りながら、産学官民が一体となって国際競争力強化のための成長戦略を策定し、事業性および波及効果のあるプロジェクトを推進していくことを目的に平成23年設立。

地域戦略：「東アジアのビジネスハブ」

～福岡都市圏は国際競争力を備えたアジアで最も持続可能な地域を目指す～

部会(観光部会、環境部会、人材部会、都市再生部会、食部会の5つ)を設置し、部会ごとに関心のある主体が集まり、取り組むプロジェクトを決定し、地域戦略を推進。

H24の主な事業内容

- 都市再生部会
WF、天神・渡辺通、博多駅周辺の3分科会を設置し、都心再生戦略の策定と福岡市の都市政策への反映を目指す。
- 観光部会
福岡都市圏のMICE戦略と行動計画の立案
- 人材部会
グローバルな人材が福岡に集う「場」づくり
- 食部会
福岡の「食」のイメージから、ブランドコンセプトの設定、海外への販路開拓。



出典：福岡地域戦略推進協議会 HPより

④東北・夢の桜街道推進協議会

構成員

【官】 東北6県、東京都

【民】 全日空、JR東日本、JTB、全国信用金庫協会、美しい多摩川フォーラム 等

目的

東日本大震災により未曾有の被害を受けた東北の一日も早い復興と地域の活性化のために、「東北・夢の桜街道～桜の札所八十八ヶ所」を選定し、「桜の札所巡り運動」の全国的な普及・展開・PRを実施するとともに、観光による東北の復興・再生を継続的(10年間)に支援することを目的に平成23年設立。

平成24年度は昨年に引き続き桜の札所巡りの旅行商品等を中心的に強化するとともに、**信用金庫業界と連携して桜守制度を整備し地域の活性化**を図る等の取組により、東北の復興・振興を図る。

H24の主な事業内容

- 東北復興支援シンポジウム、東北・夢の桜街道パネル展の開催
- 桜の札所巡り等を利用した旅行商品等の造成
 - ・公共交通機関、旅行会社と連携した旅行商品の造成・PR
 - ・「東北・夢の桜街道」の統一ロゴマークの開発
- 信用金庫と連携した桜守制度の導入
 - ・桜の札所における看板、記念スタンプ制作等の環境整備
 - ・東北地区信用金庫協会、東北地区27信金による「しんきん桜守制度」の導入
 - ・桜の札所所在の市町村、観光協会、小学校等との連携



出典：東北夢の桜街道 HPより

⑤瀬戸内・松山ツーリズム推進会議

構成員

- 【官】 松山市、広島市、廿日市市、呉市
 【民】 JR四国、JR西日本、石崎汽船、瀬戸内海汽船

目的

平成26年3月、瀬戸内海が日本で初めて国立公園に指定されてから80周年という節目の年を迎えることを契機とし、官民が連携主体となって、広島地域及び松山地域の資源を生かしつつ、瀬戸内海が有する魅力を最大限に引き出しながら、**広島地域と松山・愛媛を中核とした瀬戸内海及びその周辺を周遊する新しいツーリズム**を創造するとともに、旅行市場への定着へ向けた戦略的なプロモーションを展開するなど、**広域的な観光産業の振興及び地域の活性化**に寄与することを目的として平成24年度設立。

H24の主な事業内容

- 瀬戸内・松山ツーリズムシンポジウムの開催
- 瀬戸内と両岸の観光資源を活用した地域観光商品の開発、旅行商品化へ向けた取組(瀬戸内街道1号線)
 - ・定期航路と主要観光施設、二次アクセスを組み合わせたパッケージ商品の開発、プロモーション
 - ・テーマ性のあるクルーズ商品を開発し、モニターツアーの実施
 - ・JR、汽船会社との連携、定期航路の活性化
- 瀬戸内海船上ガイドの養成、観光ボランティアガイドの広域連携
 - ・松山ボランティアガイドと呉ボランティアガイドの連携により、定期航路の船上でガイドを行う瀬戸内海船上ガイドの発足



出典：松山市 HPより